



読解力を高める取組

2月4日は立春、暦の上では春の始まりです。京都の梅の名所、北野天満宮の梅の開花の便りに春の兆しを感じますが、まだまだ寒さ厳しい毎日が続いています。また、新型コロナウイルスの感染拡大によるまん延防止等重点措置が京都府にも適用され、心配な状況が続いています。本校におきましても、対策を強化し感染防止に努めてまいりたいと考えています。授業参観の中止等、予定を変更することになり、保護者の皆様には、大変申し訳ございませんが、ご理解いただくと幸いです。

さて、今年度も残り2ヶ月となり、どの学年もまとめに向けて意欲的に学習に臨んでいます。子どもたちの学力の傾向として、問題の意味理解に課題が見られることが多くあります。正しく答えを導き出すためには、何を問われているのか、文章を正確に読み取る力（読解力）が必要となります。広辞苑によると読解力とは「文章を読んでその意味を理解し、解釈すること」とあり、文章の意味が分かるだけでなく（理解）、自分なりの視点で理解し、説明する（解釈）力が必要となります。そこで、低下が危惧される読解力を高めるための本校の取組を紹介したいと思います。

1つめは、読書です。全校でも、学年でも取組を進めています。本を読むことで、読解力の基盤となる語彙を増やすことが期待できます。難しい言葉を前後の脈略から想像することや、言葉が文書の中でどのように使われているかを知ることは、大きな力になります。また、文章から風景や人物像等を想像することで、言葉の世界はさらに広がります。最近では、SNSで動画を見る子どもたちが増えていますが、見てすぐに分かる映像の良さもあるとは思いますが、見たり感じたりしたことを言葉で表現するためには語彙や表現方法を多く獲得しておく必要があります。その意味においても読書は有効な手段です。

2つめは、新聞です。子どもたちが持っているiPadで、子ども新聞が毎日読めるよう設定しています。小説等を読み切るには数日かかりますが、新聞の記事なら数分で読み切ることができます。様々な記事を見ただけでも、社会の出来事や動きを知ることにつながります。また、高学年は天声人語を、低学年は写真入りの記事を使って、要旨をまとめたり、感想を書いたりといった問題を、毎週火曜日の詳徳小タイムの時間に全校で継続して取り組んでいます。文章を読んでどう感じたか、何を考えたのかまとめることで、書く力だけでなく、読む力を高めることに繋がると考えています。

他にも、学年に応じて季節の言葉集めをしたり、はがき新聞づくりをしたり等工夫した取組をしています。

読解力は、学習においてとても重要な力ですが、すぐにつくものではありません。日々の継続した積み重ねが何より大切です。本校においても工夫した取組を今後も進めていきたいと思っておりますので、ご家庭におきましても、読書の際に、読んだ感想や面白かったところ等、本に関わる会話をさせていただいたり、日常生活の中で子どもたちの思いや考えを聞く時間をとっていただいたり等、少し工夫していただくと読解力の向上に繋がると思います。

亀岡市立詳徳小学校長 平井 眞理子

2月行事予定

【 】は下校時刻

日	曜	校内行事	日	曜	校内行事
1	火	登校指導 安全点検	15	火	児童委員会
2	水		16	水	短縮5校時【13:55】
3	木		17	木	
4	金	令和4年度入学児童物品販売11:30~ フッ化物洗口	18	金	フッ化物洗口
5	土		19	土	
6	日		20	日	
7	月	こころの相談週間 ベルマーク強化週間	21	月	
8	火		22	火	
9	水	短縮5校時【13:55】	23	水	天皇誕生日
10	木		24	木	
11	金	建国記念の日	25	金	6年生を送る会(児童のみ)フッ化物洗口
12	土		26	土	
13	日		27	日	
14	月	トライアル学習開始 学校諸費振替日	28	月	ALT

行事につきましては、変更される場合があります。変更の場合は、学校からのお便りや学年通信等でお知らせしますので、ご確認ください。